



特定外来生物など 環境保全や地域活性化等における企業・ 個人との連携について

2022.11.04 デジタル田園都市 SUPPORTED BY テレワーク

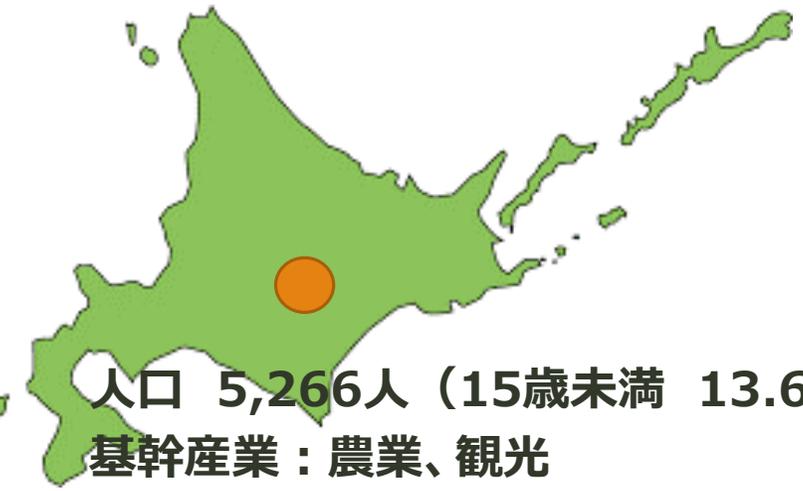
北海道鹿追町企画課 企画係長 迫田 明巳



環境を考える 未来を考える 鹿追町

- ゼロカーボンシティ宣言のまち(2021年3月)
環境省 第1回脱炭素先行地域(2022年4月)
- 日本ジオパークのまち
とちかち鹿追ジオパーク(2013年)
- 国立公園のまち
- SDGs推進のまち
- 過疎のまち

「鹿追(シカオイ)町」で、訪れた方と環境をテーマに、一緒にマラソンを走るかのように学び、考え、持続可能な未来(ゴール)を目指すプログラムです。



人口 5,266人 (15歳未満 13.6%)

基幹産業：農業、観光

教育、国際交流も特徴的!!

大雪山国立公園・然別湖

- 北海道最高峰の旭岳(2,291m)を主峰
- 北海道を代表する石狩川と十勝川の源流地域を含む「北海道の屋根」といわれる一帯
- 天空の湖と呼ばれる「然別湖」
- 北海道で一番標高の高い湖(標高800m)
- オショロコマの亜種「ミヤベイワナ」が生息する



特定外来生物「ウチダザリガニ」

- 1993年頃に然別湖南西部の湖畔温泉付近で確認
- 2006年度に駆除開始
- 生息域の拡大、生態系への悪影響(ミヤベイワナ、水草など)
- 町や町観光協会、然別湖ネイチャーセンターなどをつくる「生物多様性保全協議会」による駆除
- 企業の協力による駆除

【課 題】

全滅は難しいが生息域の拡大を抑える必要性

駆除経費の確保、人員・協力の確保が課題

- 鹿追型ワーケーションへの導入(2021年)



参加企業の様子(2022年7月 株式会社HBA)



しかりべつ湖コタン & とかち鹿追ジオパーク

- 冬に完全結氷した然別湖上に現れる幻の村
- 1982年に結氷した然別湖を利用して冬の楽しみをという試み
- イグルー、アイスバー、氷上露天風呂など
- 建築資材に雪や氷だけを使用、残存物や廃棄物による湖水汚染の心配もない
- 然別湖付近の風穴地帯には永久凍土が分布

【課題】

建築作業の人手不足、継承の担い手不足

イベント実施に係る財源の不足

気候変動問題と持続可能な地域運営

- 鹿追型ワーケーションでの実証実施(2021年)



モニターツアー(2022年1月 鹿島建設株式会社)



シカソンへの参加で お互いの課題解決の入口へ

鹿追町 ワークেশヨン



つながる。感じる。生まれる。

